

V. 業 績

原著論文－欧文

1. Ishihara Y, Miyata S, Chiba Y, Kawai T. Successful Treatment of Extremely severe Fetal Anemia due to Anti-Jra Alloimmunization. *Fetal Diagnosis and Therapy* 21: 269-271, 2006.
2. Akashi H, Fujita N, Akashi KR. Aid coordination mechanisms for reconstructing the health sector of post-conflict countries. *Japan Medical Association Journal* 49 (7, 8): 251-259, 2006.
3. Hachiya M, Osborne M, Stinson C, Werner B. Human eastern equine encephalitis in Massachusetts: predictive indicators from mosquito collected at 10 long-term trap sites, 1979-2004. *Am J Trop Med Hyg* 76 (2): 285-292, 2007.
4. Nagai M, Sandirasegaram A, Okamoto M, Kita E, Aoyama A. Reconstruction of health service systems in the post-conflict Northern Province in Sri Lanka. *Health Policy* 83: 84-93, 2007.
5. Kakimoto K, Kanak K, Mukoyama Y, Chheng TV, Chou TL, Sedtha C. Influence of the involvement of partners in the mother class with voluntary confidential counselling and testing acceptance for prevention of mother to child transmission of HIV programme (PMTCT programme) in Cambodia. *AIDS Care* 19 (3): 381-384, 2007.
6. Sophat Uy, Hidechika Akashi, Taki Kazumi, Katsuki Ito. Current problems in national hospitals of Phnom Penh: Finance and health care. *Nagoya J Med Sci* 69: 71-79, 2006.
7. Shirayama Y, Phompida S, Kuroiwa C, Miyoshi M, Okumura J, Kobayashi J. Maintenance behaviour and long-lasting insecticide-treated nets (LLITNs) previously introduced into Bourapar district, Khammouane province, Lao PDR. *Public Health*. 121 (2): 122-9, 2007.

原著論文－和文

1. 岩本あづさ. “真の「主体性」醸成への挑戦－ラオスにおける KIDSMILE プロジェ

クトの取り組み－”. 国際保健医療 21 (2) : 93-101, 2006.

2. 岩本あづさ. ラオス KIDSMILE 通信 (6 回連載), チャイルドヘルス (月刊誌) 5 ～ 10 月号 2006.
3. 永井真理, 木下真里, 青山温子, イラクにおける女性医師の現状について, 国際保健医療 22 (1) : 53-63, 2007.
4. 後藤正道, 野上玲子, 畑野研太郎, 岡野美子, 石井則久, 儀同政一, 石田裕, 尾崎元昭. ハンセン病治療指針 (第 2 版), 日本ハンセン病学会・医療問題委員会・治療指針と治療判定基準に関する小委員会, 日本ハンセン病学会雑誌 (1342-3681) 75 巻 3 号, p191-226, 2006.
5. 安食和博, 松尾剛, 垣本和宏. 開発途上国の医療施設における医療機器管理についての一考察, 国際保健医療 21 (3) : 197-199, 2006.
6. 永井和重, 疋田和生, 帖佐徹, 千葉靖男, 堤裕幸. 中国における麻疹排除対策の現状. 小児科 48 (3) : 275-280, 2006.

単行本－和文

1. 石田裕. 総説現代ハンセン病医学, 第 21 章ハンセン病制圧計画. 東海大学出版会, p385-411, 2007

総説－欧文

1. Kobayashi J, Jimba M, Okabayashi H, Singhasivanon P, Waikagul J. Beyond deworming: the promotion of school-health-based interventions by Japan. Trends Parasitol, 23 (1):25-9, 2007.

総説－和文

1. 小原博. ベトナムの医療事情と保健省アドバイザー. 熱帯 39 (1) : 105-114, 2007.
2. 小林潤. 糞線虫症. G.IResearch 14 (4) : 342-349, 2006.

3. 三好知明. パートナーシップの中での保健政策アドバイザーの役割－ラオスの経験から－. 国際保健医療. 21 (2) : 103-110, 2006.

口頭発表－国際学会・研究会

1. Ishida Y, Mukoyama Y, Chosa T, Konishi Y, Kakimoto K, Kobayashi J, Kobayashi M, Sirinirund P, Pantanakul S, Prangsuwan B. Influences of ART on the situation of PLWHA beyond clinical aspect in Northern Thailand, XVI International AIDS Conference. Toronto, Canada, August, 2006.
2. Yasuyo Osanai. Role of community-based female health workers in increasing access to maternal health care: A case study in rural Pakistan. Geneva Forum 2006. Geneva, Switzerland, August, 2006.
3. Mitsuaki Matsui, Hikaru Ueki, Miki Ueda, Peou Seang, Sokuma In Thnam, Sotha Keth Ly, Hiromi Obara, Kanal Koum. Monitoring access to emergency obstetric care in srey santhor district in Cambodia. Geneva Forum 2006. Geneva, Switzerland, August, 2006.
4. Murakami H. Maternal and child health services synergy along life-course of mothers and children in Viet Nam. Geneva Forum 2006. Geneva, Switzerland, August, 2006.
5. Kobayashi J. Perspective of new ACIPAC, Joint International Tropical Medicine Meeting. Bangkok, Thailand, November, 2006.
6. Sasaki Y, Saroeun O, Kanal K, Sathiarany V, Ali M, Kakimoto K, Kuroiwa C. A questionnaire survey on HIV testing to mothers with children aged 6-24 months in Cambodia. XVI International AIDS Conference. Toronto, Canada, August, 2006.
7. Osborne M, Hachiya M, Stinson C and Werner B. Abundance of *Culiseta melanura* at MDPH Trap Sites 1979-2004: Implications for human disease. 52nd Annual Meeting of Northeastern Mosquito Control Association. New York, USA, November, 2006.

口頭発表—国内学会

1. 蜂矢正彦. ニューヨーク州サフォーク郡における西ナイル熱ウイルス感染症のリスクと公衆衛生政策の評価. 第 80 回日本感染症学会総会学術講演会, 東京, 5 月, 2006.
2. 石田裕. 境界群らい反応の検討, 第 79 回日本ハンセン病学会, 高松, 5 月, 2006.
3. 石田裕. 中部ミャンマー 9 タウンシップにおけるハンセン病による後遺症障害の予防・悪化予防サービスの一般保健医療への導入について. 第 79 回日本ハンセン病学会, 高松, 5 月, 2006.
4. 石田 裕. An attitude survey of social participation of people affected by leprosy with disability in rural Myanmar. 第 47 回日本熱帯医学会・第 21 回日本国際保健医療学会合同学会, 長崎, 10 月, 2006.
5. 岩本あづさ, 米川明美, 高橋謙造, 池田絹代. ラオス農村部の Clinical IMCI が導入された医療施設における母乳育児に関する意識調査 (第 2 報). 第 47 回日本熱帯医学会・第 21 回日本国際保健医療学会合同学会, 長崎, 10 月, 2006.
6. 岩本あづさ. 開発途上国における新生児ケア向上のための人材養成, シンポジウム 3 「新生児医療と国際協力」. 日本未熟児新生児学会, 大宮, 11 月, 2006.
7. 小山内泰代, 松井三明, 加藤紀子, Rakotomaheva Maurice, Raharinjaka Eleonore, Arison Nirina Ravalomanda. 妊婦がアクセス可能な Skilled Birth Attendant とは? —マダガスカル国ブエニ県の事例—
8. 小林潤. ACIPAC による、メコン圏各国での学校保健支援—なぜ途上国で包括的学校保健アプローチが必要か—, シンポジウム国際学校保健. 第 47 回日本熱帯医学会・第 21 回日本国際保健医療学会合同学会, 長崎, 10 月, 2006.
9. 小林潤, 狩野繁之. 学校保健アプローチによるマラリア対策, ワークショップ「マラリア社会技術開発」. 第 47 回日本熱帯医学会・第 21 回日本国際保健医療学会合同学会, 長崎, 10 月, 2006.
10. 後藤美穂, 實吉佐知子. 地域保健システム強化に資するホアビン省総合病院における看護管理強化の試み. 第 22 回日本国際保健医療学会東日本地方会, 東京, 3 月,

2007.

11. 田中由紀枝, 野崎威功真, 杉浦康夫, Lillian Burn, Maria Pilar, 秋山稔. ポリビア国サンタクルス県での一次医療施設における Integrated Management of Childhood Illness (IMCI) の普及に関する考察. 第 47 回日本熱帯医学会・第 21 回日本国際保健医療学会合同学会, 長崎, 10 月, 2006.
12. 帖佐徹, 疋田和生, 小林誠, 村上仁, 石田裕, 蜂矢正彦. 効果的な予防接種対象児童事前登録の研究. 第 47 回日本熱帯医学会・第 21 回日本国際保健医療学会合同学会, 長崎, 10 月, 2006.
13. 仲佐保. 国立国際医療センターの人材育成戦略, シンポジウム「国際保健人材の育成と確保」. 第 47 回日本熱帯医学会・第 21 回日本国際保健医療学会合同学会, 長崎, 10 月, 2006.
14. 能勢幸代, Ali Moazzam, 黒岩宙司. 1990 年代に施行された開発途上国 54 カ国の医療制度改革の総括 (the evaluation of the implementation of the health sector reform in 54 less developed countries in the 1990s). 第 47 回日本熱帯医学会・第 21 回日本国際保健医療学会合同学会, 長崎, 10 月, 2006.
15. 能勢幸代. ウガンダにおける HIV 孤児に対する社会保障・生活保護制度 (Social security system for HIV affected children in Uganda). 第 47 回日本熱帯医学会・第 21 回日本国際保健医療学会合同学会, 長崎, 10 月, 2006.
16. 野崎威功真, 垣本和宏, 帖佐徹, 石田裕. ART の adherence 測定手法に関する文献レビュー. 第 47 回日本熱帯医学会・第 21 回日本国際保健医療学会合同学会, 長崎, 10 月, 2006.
17. 野田信一郎. MDGs 目標 4 に向けて日本ができること・すべきこと: 専門家の立場から(1). 第 47 回日本熱帯医学会・第 21 回日本国際保健医療学会合同学会, 長崎, 10 月, 2006.
18. 蜂矢正彦. 米国の節足動物媒介感染症サーベイランスーマサチューセッツとニューヨークでの経験ー. 第 47 回日本熱帯医学会・第 21 回日本国際保健医療学会合同学会, 長崎, 10 月, 2006.

19. 村上仁, Nguyen Van Cuong, Lynn Huynh, David Hipgrave. ベトナムにおける B 型肝炎ワクチン出生時接種：実施の現状とコスト（ポスター）. 第 47 回日本熱帯医学会・第 21 回日本国際保健医療学会合同学会, 長崎, 10 月, 2006.
20. 能勢幸代, 黒岩宙司. 1990 年代に施行された開発途上国 40 ヶ国の医療制度改革の総括 (the evaluation of the implementation of the health sector reform in 40 less developed countries in the 1990s). 第 65 回日本公衆衛生学会, 富山, 10 月, 2006.
21. 三好知明. パネルディスカッション（座長）途上国の保健システム強化・プログラム. 第 22 回日本国際保健医療学会東日本地方会, 東京, 3 月, 2007.
22. 村上仁. ベトナム, ホーチミン市の持続的なジフテリア流行のリスク要因：マッチングを伴う症例対照調査の結果. 第 22 回日本国際保健医療学会東日本地方会, 東京, 3 月, 2007.
23. 村上仁. 途上国の新型インフルエンザ対策：ベトナムとパキスタンにおけるワクチン使用と地域公衆衛生対応のフィージビリティ. 第 22 回日本国際保健医療学会東日本地方会, 東京, 3 月, 2007.
24. 橋本尚文, 石田裕, 宮村和夫, 垣本和宏. ジンバブエ共和国マシング州 HIV 母子感染予防プロジェクト進捗の検討. 第 47 回日本熱帯医学会・第 21 回日本国際保健医療学会合同学会, 長崎, 10 月, 2006.
25. Viengmany KEOMAHAVONG, Soukphathai SOURPASET, 曾根和枝, 岡林広哲, 岩本あづさ. ラオス国ビエンチャン県におけるクリニカル IMCI 記録システムの改善 Improvement of clinical IMCI record system in Vientiane province, Lao P.D.R. 第 47 回日本熱帯医学会・第 21 回日本国際保健医療学会合同学会, 長崎, 10 月, 2006.
26. 池田絹代, Chankam TENGBRAECGEU, 岩本あづさ, Khamphanh XAYAVONG. ラオス国ウドムサイ県における新生児家庭訪問の実績報告と今度の課題. 第 47 回日本熱帯医学会・第 21 回日本国際保健医療学会合同学会, 長崎, 10 月, 2006.
27. 橋本尚文, 内山雄太, 垣本和宏, 宮村和夫, 石田裕. ジンバブエ共和国マシング州 HIV 母子感染予防プロジェクト進捗の検討. 第 47 回日本熱帯医学会・第 21 回日本国際保健医療学会合同学会, 長崎, 10 月, 2006.

28. 佐々木由理, 垣本和宏, Ou Saroeun, Vong Sathiarany, Moazzam Ali, Koum Kanal, 黒岩宙司. カンボジア国首都プノンペンにおける HIV 検査受検決定要因に関する考察. 第 47 回日本熱帯医学会・第 21 回日本国際保健医療学会合同学会, 長崎, 10 月, 2006.
29. 神馬征峰, 小林潤, 金田英子, 竹内勤. 国際学校保健: 政策から実践へ, シンポジウム国際学校保健. 第 47 回日本熱帯医学会・第 21 回日本国際保健医療学会合同学会, 長崎, 10 月, 2006.
30. 野中大輔, 小林潤, 加藤紀子, 當眞弘, 狩野繁之, 神馬征峰. ラオスにおけるプライマリヘルスケアのためのマラリア初期治療, ワークショップ「マラリア社会技術開発」. 第 47 回日本熱帯医学会・第 21 回日本国際保健医療学会合同学会, 長崎, 10 月, 2006.
31. 佐々木由理, 垣本和宏, Koum Kanal, Ou Saroeun Moazzam Ali, 黒岩宙司. カンボジア国首都プノンペンにおける 6 ヶ月間の完全母乳哺育に関する研究. 第 22 回日本国際保健医療学会東日本地方会, 東京, 3 月, 2007.
32. Pheopphet Lamaningao, Yasuo Sugiura, Somchit Akkhavong, Sengthong Bilakoun, Bountang Douangtaphak. Health seeking behavior at villages using Health Notebook in Lao PDR. 第 47 回日本熱帯医学会・第 21 回日本国際保健医療学会合同学会, 長崎, 10 月, 2006.